

ミニ詩集

公園の鳩が痩せていた



シワシワピーマン



洗濯して干した靴下に

穴があいてるのを見つけて

軽い敗北感を覚える程度には

小市民



主観的な怒りを

客観的な祈りが鎮める

危うき均衡



もう一度

昔の自分をやり直す

のが面倒くさい

という理由で

一気に目が覚めた



シンプルに飛躍できる想像力は天才だ



イヤフォンし一心に叩き続ける一青年
ツীবাসです네 昼下がりのベンチ



葉っぱでもないのに茶と言い張るのだな



ログインの呪いから解き放たれよう



悪口にしなきや気がすまないのか



ケチャップとマヨネーズがあればわんぱく味



テレビから確実に犬山イヌコの声がする



こんなに嬉しくない「新型」があるか



おろしたてのニベアクリームのなめらかさ
非常事態もしばし忘れて



「えっ…名曲」ふとした瞬間思い出す

永遠（とわ）のファンファーレ　あなたが神か



午前中なのにもうまた明日と歌っている



久しぶりに狭山茶を買えたレシートが「挟」山茶



これはこれで良し

一日生きた後の顔





ミニ詩集

公園の鳩が痩せていた

著者 宮本 小鳩

info@miyakoba.com

2020年5月初版発行

©2020 Kobato Miyamoto, Printed in Japan

